

# ゆうこう便り

発行:北口雄幸事務所  
士別市東3条北7丁目  
Tel0165-22-3100  
fax0165-23-4356

# 道政報告で思い語る

## 晴天の中、「青空の集い」開催！

### 4度目の正直

道政報告「青空の集い」も今年で4回目。1回目は台風で中止、2度目は始まる前に霧雨が降り曇天の中で開催、昨年は小雨の中強行正しく4度目の正直で、イベント名のとおり青空の中開催する事ができました。

青空の集いには、士別市内はもちろん、遠くは富良野からも駆けつけていただき、北口道議の思いや活動のお話しを聞いていただき、



青空の集いで道政課題を報告する北口道議（7月31日）

### 8月27日～9月3日 デンマークを視察

### 民主主義の徹底に驚きと感動！

私は、この度、デンマーク王国に視察させていただきました。

なぜ、デンマークなのか。それは、北海道とほぼ同じ人口でありながら、国土面積は半分。しかし、国民1人当たりの国民総生産額は、北海道の約2倍。高負担・高福祉のデンマークでなぜそのような仕組みができるのかを勉強し、北海道の自立に向けてのために視察先としました。

デンマークでは、農業、福祉、教育などを視察し、職場や社会、家庭の隅々で民主主義を徹底的にこだわり、人を大切にしている仕組みに感動さえ覚えました。

今後、この経験を北海道の政策に活かし、そして自立に向けて行きたいと思えます。

北海道議会議員 北口 雄 幸

### 走り回った3年

主催者を代表し、小貫後援

その後、羊肉の丸焼きやジンギスカンをほおぼりながら交流を深めました。

会長から挨拶。来賓としてお越しいただいた牧野勇司 士別市長そして佐々木隆博 政務官から、北口道議の意欲的な活動についてお話しをいただきました。

今日の集いには、道北歌謡研究会の皆さんも出席し、花束を頂戴しました。その後道政報告に立った北口道議は、「皆さんのお力で議会に送っていただき、この3年4ヶ月は郷土（ふるさと）の声を道政に届け、この地域がもっと元気になるよう、精一杯走り回ってきた。そして、この間、念願であつた政権が交代し、佐々木隆博代議士は政務官に、牧野勇司さんも3度目の挑戦で市長に就任した。今まで以上に、仕事しやすい環境が整った。私は、まじめに頑張り人が報われる社会の実現のため、もつともつと頑張らなければならないと思っている。来年は2期目の挑戦。是非とも皆さんの思いを達成するため、何としても勝ち抜き、今後とも頑張り」との決意を込めたご挨拶をされました。



多くの皆さんにご参加いただいた道政報告「青空の集い」

第二回定例道議会報告(9月14日、10月8日)

知事の任期もあと半年。道を取り巻く環境は、ますます悪化の一途をたどる財政や経済・雇用をはじめとする課題が山積し、中でも、経営体制の再編が待ったなしのHAC(北海道エアシステム)、知事自らが今年度で存廃の判断をすることで、今年度5年間の期間が終了するパワーアップ事業は、早急な道としての方向の明示が迫られる課題であるにもかかわらず、今定例会中に知事の決断が出されたの

は、ホッカイドウ競馬の存続だけでした。

また、8月下旬の局地的大雨で天人峡温泉周辺での道道決壊で4人の方々が死傷するなどの気象災害をめぐり、道の防災対策のあり方も論議となりました。道の対応の不備があったとして、最終日に知事、関係職員の処分が行われましたが、道の行財政見直しが進む中で、道民の安全と安心をどう守っていくのかという大きな課題を残しました。

補正予算は、冒頭と最終日



追加補正予算案について会派を代表して質疑する(10月8日)

平成22年第3回定例会で議決された補正予算(単位:千円)

Table with 4 columns: 項目, 一般会計, 特別会計, 合計. Rows include 現計予算, 3定補正額, 先議補正, 通常補正, 追加補正, and 合計.

の2回に分けて提案されました。景気対策として国の予備費に対応する公共事業費80億円、雇用や森林整備の基金事業費92億円、経済対策としての道投資単独事業費63億円、災害復旧費39億円などの内容であり、これにより、道の22年度予算の規模は、一般会計2兆852.6億円、特別会計658.6億円の合計3兆

511.2億円となりました。最終日の追加補正に対し、会派を代表し北口雄幸道議が質疑を行いました。

総務と保福で質疑

北口道議は、予算特別委員会の総務部所管で「道有財産の有効活用」、保健福祉部所管では「地域医療の確保」で道立紋別病院の移管問題について質疑しました。

月額2千万円は高すぎ

胆振総合振興局庁舎は、昨年3月から室蘭市の第三セクターから賃貸借して事務所として使用。その家賃が月額2千万円(年2億4千万円)にもなり、賃借するより、直接建設したほうが安くなることを指摘。今後、家賃の決定、賃貸借するか直接建設するかなどの判断については、評価システムの導入を検討するとの答弁を引き出しました。

採択された決議・意見書

公立義務教育諸学校の教職

- 員定数等に関する意見書
北海道開発の枠組みの堅持と北海道局の存続に関する意見書
B型肝炎問題の早期全面解決を求める意見書
不在村者が所有する森林の整備に関する法整備を求める意見書
経済連携協定に基づく外国人の看護師候補者及び介護福祉士候補者への配慮を求める意見書
鉄道分野・公共交通への予算配分と政策推進を求める意見書
「原子力発電施設等立地地域の振興に関する特別措置法」の期限延長を求める意見書
議長の議会招集権及び地方議会議員の位置づけの明確化を求める意見書
私学助成制度に係る財源措置の充実強化に関する意見書
EPA交渉等に関する意見書
北海道農業の発展に必要な生産基盤整備に関する意見書
北方四島入域に関する閣議了解等の徹底を求める意見書
新たな経済対策を求める意見書
一括交付金制度に係る安定的な地方財源の確保を求める意見書
尖閣諸島沖における中国漁船衝突事件に関する意見書
小沢一郎衆議院議員の政治資金収支報告書虚偽記入事件の全容解明と説明責任を果たすよう求める決議
の4件は、自民会派が提出した。民主会派は、党利党略を地方議会の場に持ち込むものであるとして反対しましたが可決されました。

写真で振り返る北口道議の活動記録(7月~9月)



士別市温根別町の大雨被害を調査(7/31)



ふれあい広場で障がい者条例を説明(7/3)



乙部町で稲村道議と海浜公園を視察(8/18)



旭川市でパークや鶏糞の堆肥化を視察(8/12)



七飯町で肉厚しいたげ栽培を視察(8/24)



JP 労組上川南支部定期大会で挨拶(8/22)



目が輝いているデンマークの子どもたち(9/2)



元気な農業・農村の復活を求める全道集会(8/25)



自治労北海道本部から推薦を受ける(9/29)



「佐々木代議士を囲むふるさとの集い」で締め音頭(9/4)

元気な郷土(ふるさと) 創造宣言!

# 北口ゆうこう奮闘日記

http://y-kitaguchinet/

北口道議の奮闘ぶりをブログから抜粋してご紹介します。(7月～9月分)

## 7月23日【中央要請行動】

今日は暦の上では大暑。

一年でもっとも暑くなる日だぞうだ。そんな今日、23年度政府概算要求に対する中央要請行動を行ってきた(中略) 農林水産省では、山田大臣と佐々木政務官が対応していただき、北海道からは、農業の戸別所得補償制度の実施、農業基盤整備の予算拡大などにつ



山田大臣、佐々木政務官に要請

いて要請してきた。山田大臣からは、「戸別所得補償はしっかりとやりたい」と述べられたものの、土地改良事業については「必要なものはしっかりとやっていく。限られた予算なので、急ぐものとそうでないものを区別し、改修などを優先していきたい」との見解が述べられ、新規事業などについては厳しい予算になるとの感じを受けた。今後、どのように運動を展開するかなど、運動の工夫も必要なのかもしれない。

## 8月27日【大雨被害現地調査】

先日の大雨では、2名の方が亡くなり2名の方が怪我をされた。被災された皆さんに心からお見舞い申し上げるとともに、一日も早い回復をお祈りしている

併せて、道路の被害は、陥没と流失で大きな爪痕が残った。現場を見せていただき、流木が川幅いっぱいにあふれ、当時の激しい水の流れを想像することができ、改めて、水の恐ろしさ

を知ったところだ。現地では、一日も早い復旧をめざし、24時間体制で作業に当たっており、関係者する皆さんのご苦勞にねぎらいをさせていただいた。しかし残念なことは、被災現場周辺で北海道が設置している雨量計が故障していたことが判明したことだ。災害時のマニュアルでは、一定の



被災現場で担当者から説明を受ける

雨量を超えると通行止めにする事になっており、この雨量計が故障したことに、近くの気象庁の雨量計を参考にして対応したが、正確な雨量の判定はできない状況であった。今後、このような旧式の雨量計が道内にどの程度あり、改修に

どの程度の予算が必要なのかなどを検証しながら、二度とこのような災害をおこさない対策をしなければと思っている。

## 9月12日【被害&作況調査】

南富良野町において、

先日の局地的集中豪雨による表土流出及び今年の作況状況調査を行った。8月24日の集中豪雨は、富良野地方に100ミリを超える大雨を降らせ、農家の皆さんが長い年月をかけて作ってきた表土を一気に流出した。さらに、ビートやジャガイモ、ニンジンなどの根菜類の表土を奪い、地表に押し出したことから、作物の成長は望めず、厳しい出来秋にな



南富良野町を調査させていただく

りぞうだ。特にニンジンについては共済制度がなく、例年の2～3割の収入になるとのことだ。また、成長期に高温が続き、収穫部分割れるなど、出荷できない状況だ。今後、共済制度の創設や自治体支援による対策、来年の営農資金融資なども議論していきたい。

## 【ひとりごと】

日本でおなじみのコンビニエンスストア。そのコンビニがデンマークのコペンハーゲンでもあったのだ。その名はセブンイレブン。見慣れた看板を見たとき、驚きと安心感を覚える自分がいた。営業時間は定かではないが、一般個人は、法律で営業時間が定められており、日曜日などは午後6時で閉店となるが、コンビニは開いていたので、この規制は受けていないようだ。日本でのコンビニは、本部との契約で大変だという。我が会派では道内全店のコンビニにアンケート調査をした。1割強から回答があり、悲鳴のような訴えがあった。これからフランチャイズ法の制定に向け、取り組んでいきたい。(ゆうこう)